

<横浜市議員（旭区選出）古川なおきの市政活動報告>

第75号

2008年1月15日

一月刊



古川なおきレポート

古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@furukawa2002.com



「地球益」・・・新年に ○ 思ったこと

新年明けましておめでとうございます！

昨年は毎月私のレポートをお読みいただき、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。本年も朝の駅頭等で「古川なおきレポート」を配布させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、お正月三が日の新聞を読んでいると、大きな視点で物事を見て行かなければならない、と感じるものです。今年は「地球益」という言葉が目にとまりました。私たちはこの世に生を受け、地球をお借りして住んでいるので、美しい地球のきれいな水と空気と土を次の世代に受け渡す義務があると思います。「地球益」「国益」「地域益」「企業益」「家庭益」「自己益」・・・あまり使わない言葉もありますが、いずれにしても、人類は究極的には地球益のために行動しなければならないと思います。私たちは自分さえ良ければという考えになりがちです。自分のことだけを優先したために家庭が崩壊する。企業の利益を優先したために環境を汚染する。地域の利益を優先させたために国益が損なわれる。国益を優先させたために紛争が起きる。そう考えるとまずは身の回りの人のことを思い、利他のため、広く社会（地球）のために生きることが、私たちの使命のように思います。（偉そうに書かせていただきましたが、私自身もそれができず反省ばかりしています）

今年、横浜市は5月にアフリカ開発会議が開催されます。約100カ国から1000人以上の参加者が予定される大規模な国際会議です。地球のことを考えることは、アフリカのことを考えることでもあり、横浜の子ども達も含め市民みんなで会議を成功させたいと思います。また、地球温暖化防止に対しても横浜市は独自に取り組んでいく決意をしました。「横浜市脱温暖化行動方針」や「脱温暖化条例」を制定し、2010年度までに1990年度比で市民一人当たり6%以上削減、2025年度までに2004年度比で市民一人当たり30%以上削減することを決意するものです。横浜市の市民、企業、役所が一丸となって、地球のために自分のできることから行動する年にしたいですね。

最近、京セラの創始者稲盛和夫氏を師とする上場企業の若手経営者とお会いしましたが、会社のためといった狭い意味での「利他」の考えではなく「世界平和の実現」を真剣に考えられていました。世界共通の環境の教科書を作る、という夢を持っているワタミの渡邊美樹社長も夢の実現に向けて努力されています。私自身もまずは旭区、横浜市のため広く社会に貢献できるよう、地道に精進してまいります。今年もご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。最後になりましたが、2008年が皆様にとって素晴らしい年になりますことをご祈念申し上げます。

横浜市議員 古川なおき

ハマ・ルール (ポイ捨て・喫煙 禁止条例) がはじまります！

2008年1月21日(月)から、「喫煙禁止地区」の中では、喫煙(火のついたたばこを持つことも含む)が禁止されます。「喫煙禁止地区」は屋外の公共の場所での喫煙を禁止する必要があると認められる地区であり、①横浜駅周辺地区②みなとみらい21地区③関内地区の3ヶ所を指定しています。違反者には2000円の過料が科せられます。

古川なおき早春の集いを開催します

日時 2008年2月10日(日) 17時30分より
会場 ミツ境ライフ4階「コミュニティサロン」
内容 ゲスト・登山家小西浩文さんのお話、抽選会など
会費 5,000円 主催 古川なおき青春の会

※参加ご希望の方はFAX又はメールにて古川なおき事務所へ1月31日までに申し込ください。

※どなたでもご参加いただける立食の懇親会です。普段着でどうぞ。
※準備の都合上必ず事前にご連絡を頂けますようお願い致します。

※古川なおき事務所

FAX: 045-366-9700

メール: jimu@furukawa2002.com

「タウンニュース旭区版 平成20年元旦号に寄稿しました」

若者を育て、夢や希望あふれる年に

新春寄稿

横浜市会議員

古川なおき

新年を迎え、新たな夢や希望を心に誓っている方も多いと思います。昨年は多くの区民の皆様にご協力いただき、活動報告を続けてきました。今年も、早いもので私も26歳の初当選以来、横浜市会議員として「横浜市コ

ールセンター」設置などの政策実現や「古川なおきレポート」を発行し、朝の駅での活動報告を続けてきました。今年40歳の節目の年になります。社会の中心世代として精進すると同時に将来

の社会を担う若いリーダーを本格的に育成したいと考えています。

出版 致知 藤尾社長と

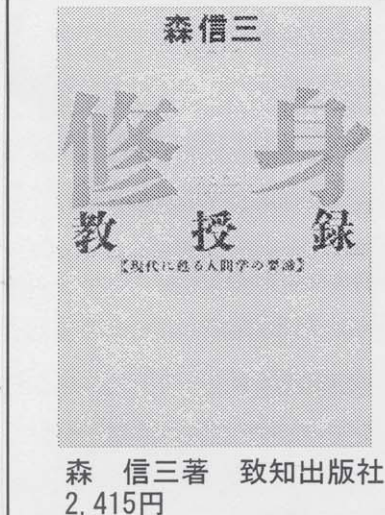
昨年末、日頃から指導いただいている登山家の小西浩文さんをご紹介します。致知

若者と学び合いを

夢や希望を持った元気な若者を育てるためには、まず私たち大人が模範となる人間にならなければなりません。教える側も絶えず学ばなければなりません。藤尾社長よりご提案いただき、

出版社の藤尾秀昭社長と青山の本社で会食させていただき、以前から致知出版社の本は安岡正篤先生のご著書等から深い感銘を受けていましたので、藤尾社長との縁は私にとって大変光栄なことでした。温和な方でお話していると心が洗われ大変勉強になりました。「月刊致知」が各界のリーダーから支持されていることがわかりました。

今年はおリンピックの年、日本代表選手の夢は金メダル。登山家の小西浩文さんも世界の8000m峰14座すべてを酸素ボンベを使用しないで登頂する夢に向けて、マナスル(8156m)に挑戦します。みんなの夢や願いが叶う素晴らしい年になりますことを心よりご祈念いたします。



ケータイでもご覧ください!

●古川なおき事務所●

✉naoki@furukawa2002.com

URL www.furukawa2002.com



古川なおきプロフィール

39歳 ○希望ヶ丘高校、明治大学卒業／横浜銀行、議員秘書を経て平成7年学生ボランティアに支えられ市会議員26歳最年少当選。学校法人八州学園理事、旭区食品衛生協会顧問／希望ヶ丘高校の先輩、ワタミの渡邊美樹社長と一緒にカンボジアに行き、小学校を寄贈するボランティアでも活動。(SAJ理事)

ぜひ古川なおきレポートを愛読の皆様にも一読いただければと思います。